

社会福祉法人 二葉保育園
児童養護施設 二葉学園

二葉だより

発信元

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578
FAX 042-480-5200



「子どもや自分自身に 向き合うということ」

去る一月十四日に法人主催の新年会が開催され、その中で令和四年度の「徳永恕賞」の表彰がありました。徳永恕賞は(一)法人の職員で、多年に渡り法人が展開する社会福祉の実践と向上に努め、功績顕著な者、(二)法人の職員で、地域活動、学術・文化・スポーツ、人命救助等で善行のあった者、(三)法人の職員で、職員全体の名誉を高揚し、他の模範となる行為をした者に送られるものです。二葉学園では先輩である奥野宣子さんが、平成二十九年度に受賞しています。

徳永恕賞の盾には「共に泣きともに喜ぶ あなたは二葉のもとに集う人々のためにもてる力を十分に発揮してくださいました。ここに感謝をこめてあなたの労をたたえます」の文字が刻まれています。今回、二葉学園の実光朋美職員が受賞されました。以下はその時の実光さんのお礼の言葉の内容です。ご紹介させていただきます。

「徳永恕賞をいただくことになり、この仕事を続けてきて、私の人生、児童養護冥利に尽きます。推薦してくださった園長先生、承認してくださった法人の理事長先生はじめ各関係の方々へ感謝申し上げます。私が四十八年前二葉学園に入職した時、大先輩の先生のお一人が「この仕事は、かっぱえびせんねー、やめられない♪とまらない♪なのよ」と忙しそうに子どもたちのお世話に走り回って見ました。今でもえびせんを見る

と懐かしく思い出されます。

五十年前の児童養護は生活を支えることが主な業務でした。今ほど物資にも恵まれず、進学もほとんどが義務教育(中学)卒業までで、高校進学すら稀でした。上の子が下の子の面倒を見てくれることや貧しいながらも季節ごとの行事などが子どもや私たち職員にとっても楽しいイベントでもあり、思い出でもありません。

「昨日、日本の世の中は高度経済成長を遂げ、より複雑になってきました。世の中が複雑になればなるほど、そのしわ寄せが子どもを直撃しているように思います。問題や心の障害を抱える子どもも多く入所するようになり、今までの生活の支援もさることながら、専門的知識を必要とするかわりが求められるようになってきました。とても難しい職業になったと思います。子どもを支援していくことに疲弊して辞めていく職員もいます。しかし、何故この職業を選んだのかを深く受け止め、子どもと自分自身両方に真剣に向き合って努力して

いってほしいと思います。」

どの子どもも平等に幸せになる権利があることを念頭に置き今後の児童養護を担っていく若い方々に二葉学園や二葉保育園の理念を受け継いでいてもらいたいと切に願っています。本日はありがとうございます。もう少し職員でがんばります。」

コロナ禍下で子どもも職員も自分自身と向き合う時間はこれまでよりもあったかもしれません。しかしながら職員にとって、自分自身と真剣(真摯)に向き合う作業は時にしんどく、つらく感じることもあります。でもそこから逃げることなく子どもに向き合ってくれる大人の存在を子どもたちは求めています。二葉学園は自分自身と向き合いました、前に進んでいきたいと思えます。

施設長 小倉要



コロナの状況の 変化を受けて

【学園の取り組み】

コロナ禍の影響を受け、学園では急進的にオンライン会議やネットワークを活用した手続きに対応できるインフラ整備を行いました。当時は慣れない環境に職員たちも動揺がありました。今では、よりマルチに対応できる機器を揃え、子どもたち一人一人の生活はもちろんのこと、学園全体での会議や行事等に活かし、取り組みをより豊かにすることができるようになりました。もともと「やり取り」の対話を中心としたコミュニケーションを大事にしてきた二葉学園にとって「顔が見れない」「直接会えない」環境は非常に苦しい状況でした。だからこそ、画面越しでも顔が見えるツールは革新的で、安心に繋がりました。今ではオンライン環境は日常の一部となつて子どもも職員も有効的に利用しております。

専門職主任 星直倫



【子どもたちの
生活の変化】

およそ三年間コロナ禍で日常生活の中で様々な事を制限されてきました。学園の子どもたちは学校から帰っても集団生活ということもあり、一般家庭より一層感染対策に気を遣わなければならぬ状況もありましたが、そのなかでもどうしたら生活やイベントを楽しめるか工夫して過ごしてきました。そんな生活に慣れてきてそれなりに楽しくやれるんだなと思っていましましたが、世間の行動制限も緩和されると、たくさん遊びたいこと、行きたい場所が子どもたちの口から出てきたり、お出かけ用の服を買いオシャレに力を入れ始めたり、生活に活気が出てきました。まだ感染対策

に気をつけなければならぬところもありますが、これまで我慢しなければならなかったものを挽回できるくらい様々な経験を子どもたちにさせてあげたいと思っています。

児童指導員 足立理美

二葉学園夏行事

二葉学園では毎年夏行事を行います。実行委員が職員に企画を募り、企画者は職員全体に対してプレゼンをしてもらいます。企画者の子どもに対する「こんな経験をしてほしい」「こんな感動を共有したい」という思いを込めてプレゼンをしてもらい、数ある企画の中からその年に実施するプログラムを決定していきます。

コロナ禍により夏行事を実施出来ない年もありましたが、去年からまた夏行事を復活させることができ、子ども・職員共にとっても感動的な夏を過ごすことが出来ました。

今年度も企画・プレゼンを経て六プログラムを実施行く場所、内容ともに魅力

令和4年度夏の取り組みの様子



的なものばかりで、実行委員長としても今からとても楽しみです。

次号では写真と共に行事の思い出話や子どもたちの感想をお伝えできると思っています。お楽しみに！

夏冬行事実行委員長

篠田未来

地域とのつながり

今二葉学園は地域や関係機関の方々のご理解とご協力があって、これまで調布・府中の地で学園の子ども達を育む事が出来ました。昨年度は二ホームの移転があり、新たな地域との繋がりが出来た事で、近隣のお店から寄付を頂いたり、公園で学園の子どもと一緒に近隣のお子さんの見守りを職員が行うという事もありました。

そして府中のホームでは民生委員のお力添えもあり市民活動団体や地域のネットワークと繋がる事が出来ました。また学園の子どもだけではなく、地域の子ども達の安全安心を守る為、『子ども緊急避難の家』への登録、ホームに隣接する保育園との合同防災訓練も行っています。

二葉学園は地域との繋がりを大切に、学園の子ども・里親家庭・地域の子ども達が健やかに成長している環境を、地域と共に作っていきたくと考えています。

地域支援担当 日下部 樹

令和4年度寄付金報告

児童養護施設 二葉学園にいただきましたご寄付についてご報告いたします。昨今の物価高もあり約20年変更していなかった児童のお小遣いを、令和5年度から増額することにしました。児童のお小遣いの増額を含め、昨年度いただきました総額「3,036,000円」の寄付金を下記のとおり使用させていただく予定です。皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

・誕生日プレゼント、クリスマスプレゼントの費用	580,000円
・高校生の塾費用	126,000円
・今年度の卒園児の自立準備金	200,000円
・児童の被服費として	580,000円
・児童の習い事費用として	200,000円
・児童のお小遣い増額分	1,392,000円
・児童への図書カード配布	58,000円
・行事費用補填分として	100,000円

二葉学園委員会活動報告 ～育成体系検討委員会～

毎年たくさんの新任職員が入職し、二葉学園は常勤職員でも60名を超え、非常勤職員を含めると100人に達しそうな勢いになっています。そのような中、職員がどう成長し、どう子どもたちとその家族により良い支援ができるようになっていくのか、そういう仕組みが求められています。これまで内外で様々な研修がありましたが、それを体系的に捉え直し、「育成体系」として構築していく取り組みを行っています。

昨年度から今年度にかけては、「新任研修」に重点を置きました。昨年度は7名、今年は10名の新任職員が入職しています。来年度もそれくらい的人数が入ってくるかもしれません。経験年数の少ない職員が、少しでもホームで安心して子どもたちと関わり、共に成長していけるように、「新任研修」と「ホーム」を繋げることができるよう取り組んでいます。

養護主任 赤瀬 正樹

子どもたちの生活

【新入学 菜の花】

小学校・高校と二名の児童が入学を迎えました。小学生はランドセルを背負い、満面の笑顔を見せ「小学校楽しみ」と話してくれました。高校生は新しい制服を身にまとい、緊張しながらも部活動のことや新しい交友関係について胸を弾ませていました。

入学式を終え、二人ともクラスの様子、友達のことについて楽しそうに話し、希望に満ち溢れた表情をしていました。これから悩むことも増えると思いますが、私たち大人が気持ちに寄り添い、子どもたちに安心して学校に通ってもらえたらと思います。

児童指導員 窪田 絢子

【年度末部屋レク

アイリス】

高齢児が多い男子ホームのアイリスは、受験と就活が終わった三月に部屋レクに行ってきました。一日目は葛西臨海公園へ。潜水していた海鳥がひよっこり水面に顔を出すと「あ！ネッシー！！」と大興奮の幼児。ボールで思い切り身体を動かすお兄さん達に

急いで知らせにいきました。子どもたちのやりとりに心が温まります。後半はみんな協力してカニ探し！年齢幅が広いこともあり、それぞれの距離感を大切にしながらも、楽しむときは楽しめる子どもたち。二日目のデイズニースーは初めて訪れる子どもが多かったので良い思い出になったようです。

保育士 三浦美里

【年度末部屋レク

屋久杉】

三月某日、受験生や就活生の居た去年度はそれぞれが一段落着いた頃、千葉県のとあるホテルに宿泊に行きました。年に数回、屋久杉ホームはちぎればかりの量の美味しい料理を求めて食べ放題に行きます。今回も海の幸をメインに、各々が思い思いの料理を沢山食べることが出来ました。ホテルには大きなプールがついていますが、子ども達に人気だったのは昨今のブルムであるサウナ。『整う』感覚を体験した後にお腹いっぱい食べられ、大好きなカニを食べられて幸せそうな顔をしている人、苦しそうな顔をしている人、と様々でした。

保育士 玉井里奈



【年度末部屋レク

コスモス】

年齢もバラバラ、やりたいこともそれぞれ違うので、実は行きたい所を決めるのも一苦労でした。

しかし、出発すれば全力で楽しんでくれる子どもたち。スポーツチャで初めてローラースケートに挑戦してみたり、おしゃれなホテルに泊まってビュッフェでお腹いっぱいになるまでご飯を食べたり、土砂降りのマザー牧場でいちご狩りをしたりと普段の生活では経験できない事をたくさん経験出来て充実した表情をしていました。楽しかったこと、嫌だったこと、好きなこと、いろんなことを発見して思い出にしまってももらえたらいいなと思います。

児童指導員 日野亮子

【習い事や部活

あじさい】

中学校や高校に進学し、サッカー部、バレー部、バスケット部、野球部と運動をするのが大好きな児童が、あじさいホームには多くいます。練習試合や試合があった日には、色々な話を聞かせてくれ、部活が大好きだという気持ち

どんどんと伝わってきます。時には、悔しい思いもしながら。ただ、少しづつ自信をつけていく姿や仲間と協力する姿は青春そのものです。また、学校、部活をこなしながら、受験のために通塾している児童もいます。初めのころは、テストの結果に自信がない児童もいましたが、最近では「ほら。見てよ。点数上がったんだよ！」と嬉しそうに見せてくれることも多くなり、日々、嬉しい気持ちになります。

保育士 志村優月



【習い事や部活 すみれ】

中学校に入学し、部活動選択で卓球部に入った児童がいます。週五〜六回ある部活に毎日通い「疲れた」が口癖になり始めました。それでも新しい技や部内のリーグ戦で順位が上がると嬉しそうに報告に来て、道具を自分で手入れする姿を見ると成長を感じて嬉しくなります。そんな忙しい日々を送る中で自身の進路や成績についても考え始め、塾に通うことを決めました。週二日、テスト期間は毎日のように塾に通い勉強に対しての苦手意識を克服しようとして習ったばかりの英語を使って話しかけてくることにも喜びを感じる日々です。

児童指導 寺尾春夏

【放課後の過ごし方 けやき】

「ただいまー！〇〇の家行ってきます」ハおかえり！ランドセル片付けて行つてよ！あーあ行っちゃった、Vこれがいつものけやきホームです。子どもたちは学校から嵐のように帰って来て、嵐のよように遊びに出かけて行きます。そして帰ってくると宿題、入浴、トラブルなどホームでも嵐が巻き起こります。

夕食時、今日はなにを

たの？Vという話になると地域の人や事の話になることも多く、職員よりも地域の事をよく知っているなど感心します。引越して約二年が経ちますが子どもたちが地域と学園を繋いでくれていると実感する毎日です。

児童指導員 河内建太

【放課後の過ごし方 さくら】

幼稚園や学校を終え、子どもたちはホームに帰ります。インターホンを鳴らすと、職員に「おかえり」と迎え入れられます。

子どもたちの「ただいま」の一言、その声色や表情はそれぞれで、『学校でいいことがあったかな？』『がんばって帰ってきたんだね』と様々な心境を想像できる場所です。

おやつを食べて一息つくくと夕飯の支度をする職員との団欒、またはゲームや工作などの余暇を楽しみ、一人ずつ入浴します。子どもたちの過ごし方や生活のペースをそれぞれに守ることができると、二葉学園での生活ならではのと思えます。

保育士 木村若菜

【子ども達で流行っているもの アスター】

小学校高学年と中学生の男子たちで流行っているものといえばゲーム。その中でもスプラトゥーン³にのめりこんでおり、子ども同士で戦い合ったり、通信対戦で一緒に協力して戦って遊んでいます。夕食後のリビングでは職員も混ざって、子どもと対戦する日も。勝って嬉しいこともあれば、負けて悔しくなることもあり、どうしたらみんな楽しくゲームが出来るかな日々練習しています。

小学一年生の男の子はプラレールと電車で夢中。リビングに大きな線路を作り、元々大好きだった自分の電車を走らせ、とても嬉しそうに遊んでいます。

保育士 元井隆蔵

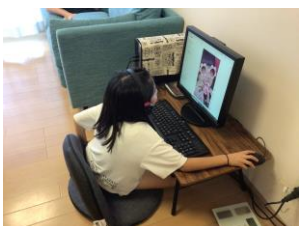
【子ども達で流行っているもの ひまわり】

ひまわりホームでは小学生も上手にパソコンを使いこなしている、YouTubeやTikTokなどそれぞれ好みの動画を探して楽しんでいます。音を楽しむASMRやゲーム実況なども良く使われている流行りの音楽はみんな知っていて、年

齡関係なく一緒に口ずさんでいる姿は微笑ましいものです。

子ども達に最近の流行りを教えてもらうことも多いですが、その中でも特に「お気に入り」を教えてもらう時、子ども達と一緒に楽しい気持ちで共有できるような気がする大切な時間と感じています。

児童指導員 尾曾佳乃



行事報告

【卒園生を送る会】

令和四年度は六名の卒園生を送り出しました。リモートと対面を組み合わせ、一部は式典形式、二部は会食形式で卒園生の門出を祝いました。

卒園生の表情や言葉には、進路に対する希望と不安、二葉学園への想いが溢れていました。みんなで卒園生の旅立ちを祝い、温かみのある会になったのではないかと思います。 児童指導員 小島晶子



【卒園生の会】

今年の一月に、数年ぶりの卒園生の会が開催されました。これまでとは開催方法を変えつつ、時間を短縮した形ではございましたが、沢山の卒園生にお集まり頂きました。

近況を伺いながら、また在園当時に振り返る中で旧交温める機会となり、改めてこの場の大切さを感じることができた時間となりました。

児童指導員 菅大輔



【クリスマス会】

昨年度のクリスマス会は各ホームと本園ホールをつないだリモートでの開催となりましたが、牧師さんをホールにお招きして一部の礼拝を行うことができました。二部ではホーム対抗でプレゼントをかけたゲーム大会が行われたり、特技の発表やホームのメンバーで歌と楽器、手話などを披露してくれたりとても盛り上がりました。

児童指導員 藤木咲羽



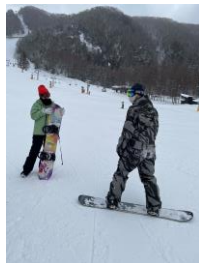
【スキー・スノーボード】

小学校高学年以上はスキー、高校生以上はスノボをしに新潟県にある「丸沼高原スキー場」へ行ってきました！半数は初心者でしたが、上達も早く全員滑れるようになりました。子どもたちからも、「二日じゃ足りない！もっと滑りたい！」という声が多く上がり、ウインタースポーツの楽しさを感じてもらえた二日間になりました。ではないかと思えます。

児童指導員 三加真衣佳

【雪遊び低学年】

幼児・低学年向けの雪遊びプログラムでは、よくお世話になっている『ふじてんリゾート』さんにお邪魔し、そり滑りやかまくら作りなど一杯雪遊びに没頭しました。コテージから眺める打ち上げ花火は絶景で子どもも大人も釘付けに。嬉しいサプライズ演出がありました！終わるころには「来年もまた雪遊びしようね」と、大満足の二日間でした。 児童指導員 佐藤溪



【雪遊び高学年】

高学年向けの雪遊びプログラムとして、今年には新潟県の苗場スキー場近くにある『東屋ロッヂ』さんに宿泊し、近くの廃校の敷地をお借りして思う存分雪遊びを楽しみむことが出来ました。そり滑り、雪合戦、かまくら作り、雪だるまを始めとした造形遊びなど、子供たちそれぞれが試行錯誤しながら、遊びを作り上げていく姿が印象的でした。

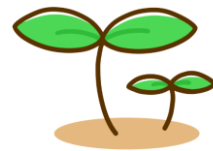
児童指導員 曾根祐人



新任職員

アンケート方式で紹介させていただきます！！

- ①名前 ②所属先 ③これでナンバーワンを目指します！
④好きな言葉 ⑤皆さんへ一言



- ①原田蘭
②アスター
③子どもを想う気持ち
④この世はでっかい宝島
⑤子ども達が自分らしく生きていけるようサポートできる職員を目指します！

- ①戸井朝陽
②アイリス
③美味しいごはん
④諦めたらそこで試合終了
⑤子どもたちや他の職員、周りの方々への感謝を忘れずに、子どもとの日々を楽しみたいと思います！

- ①矢野彩織
②コスモス
③寝起きの良さ
④「来るもんは来る。来たときに受けてたてばいい」byハグリッド
⑤まず1年目は子どもにとって違和感のない存在になれるよう関係性を作り、職員のみなさんに顔を覚えてもらえるよう頑張っていきたいと思います。

- ①沢田春
②ひまわり
③自分らしさ
④他人にやさしく 自分にもやさしく
⑤大変なこともあります。先輩や同期に支えられ、楽しく働かせていただいています。新たな自分に出会いつつ、子どもとともに成長していけるよう頑張ります。

- ①横山水音
②あじさい
③健康
④おかわり無料
⑤一日一日を大切に、大きく成長できるよう頑張ります。

- ①平田さくら
②ひまわり
③ON・OFFの切り替え
④楽しくないと思ったらやめなさい。でも、少しでも楽しいと思ったら続けなさい。
⑤子どもから刺激をもらいながら働かせていただいています。子どもたちと共に成長していきたいと思います。

- ①佐藤里香
②屋久杉
③スケジュール管理
④良い加減
⑤色々なことを見て感じて実行して、自分なりに頑張っていきたいです。

- ①西井絢音
②すみれ
③明けの引継ぎまでにホームを出来るだけ毎回ピカピカにしておくこと
④一生懸命はかっこいい
⑤キャパオーバーにならない程度に沢山のことを吸収していきたいです。

- ①古川夏葵
②アイリス
③居心地のいいホームづくり
④今を楽しむ
⑤一つ一つ出来ることを増やして、先輩職員に迷惑をかけないように、追いつけるように頑張ります。

- ①中畑望華
②菜の花
③楽しそうな雰囲気
④笑う門には福来る
⑤明るく楽しく子どもたちの支援にあたっていきたいです！

二葉学園では、養護の目的を達成するためにご援助を頂いて、より子どもたちの成長をはかるための賛助会を構成して、養護の状況をご報告しながら仕事を進めております。

皆様のご協力とご紹介をお願いいたします。

年会費 一口 1000円

お申し込み先

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578

FAX 042-480-5200

郵便振替 00130-4-47665

毎年報告しています
 済済報告にしましては、
 社会福祉法人 二葉
 保育園のホームページ
 をご覧ください。
<http://www.futabayuka.or.jp/>

賛助会員・御支援者

御芳名

(敬称略)

秋葉義孝 秋葉宏子 辻久恵 秋輪和幸 石森康雄 坂倉綾子 野地隆夫 新井美津子 岡本光一 岡本文子
 ばていすりー・ど・あん 仙川教会子ども教会 日本鏡餅組合 子ども地球基金 (財)登戸学寮寮生一同
 志賀勝子 網代正孝 斉藤友子 多胡彬 大橋章人 大橋能里子 桐谷重毅 橋本知 福島穆
 高山直人 ちようふ子どもネット青少年ステーション 加幸男 大河原幸子 関沼幸通 (有)柴田商店 柴田明
 ヤング理髪店 高橋清一 永幡紀明 上石原二丁目自治会さくら会 徳井美千代 宮田康成
 調布駅前パソコン教室 朝日管財(株) 多田京子 東京都蒔菫共同組合 東中野教会 牧操子
 高橋清一 細川知子 小松幾世 有賀芳子 大新電気工業(株) 武藤修明 原田利裕 堀本縣治 田辺一男
 加藤実三 中山正雄 藤澤晴子 (株)ドリームホーム BIRサーティーワンアイス(株) 牧野信也 成田和子
 千賀ひろみ 舟久保由紀子 食肉生活衛生同業組合 坂本悠紀子 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 阿部陽子
 折茂伸満 フードバンク調布 大河内義貴 渡邊幸一郎 萩生田敏一 (有)ダスカジャパンクアウテモック 齋藤隆夫
 染地地域福祉センター 高浦勝寿 作左部麻希 上野まり子 西光庵 清永道也 清永春美
 府中市主任児童委員会一同 (株)ブレナス (社)東京馬主協会 (有)布田屋 掛川亜季 調布市社会福祉協議会 園武友
 公益財団法人資生堂社会福祉事業財団 鈴木洋 藤田奈巳 那須史子 宮川千春 関根裕美 柳原園子 田中秋男
 長澤康浩 福田裕代 野田英明 徳富善子 特定非営利活動法人日本チャリティ活動支援協会 池田守彦
 (株)NUK建設計画事務所 一般社団法人東京文具工業連盟 調布市遊技場組合 大島紀子 吉澤貞雄 吉澤治代
 アンダーツリー東京キコナ府中店 フィリップモリスジャパン(株) セカンドハーベスト・ジャパン 池田守彦
 中嶋勝夫 松浦幸子 NPO法人ちようふこどもネット 宇山みえ子 コストコホールセールジャパン多摩境倉庫店
 (株)京王閣 東京調布ライオンズクラブ 菊池邦夫 渡辺チイ 清水裕子 株式会社ガイア 武田康男
 角瀬敬子 島田圭子 小林明信 調布WAT 渡辺喜信 渡辺千重子 滝沢友紀 村岡弘 村岡えり子 村岡海斗
 府中子ども家庭支援センター たっち 一般社団法人東京都信用組合協会 調布・狛江地区更生保護女性会
 焼鳥とりふく糸川 (株)オリエントコーポレーション ワールドメイト 小林肇 関口隆雄 白百合女子大学
 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 中央共同募金会・アサヒ飲料(株) 日本再生(株)代表取締役鷺見健司 西村文子
 健全育成第三地区委員会有志一同 小倉勇 (株)日本M&Aセンター代表取締役社長三宅卓 柳俊一郎
 寺澤玲子 廣瀬剛 河内進一郎 榎本春久 フードフォーキッズプロジェクト 全国シヤンメリー協同組合 森本裕美
 塩野梨沙 株式会社日本出版社販売 松浦幸子 富士天然氷蔵元・不二 高田健吾 佐藤昭 調布市フードドライブ
 大塚商会(株) アメリカンスクールインジャパン NPO法人フuranネットカナル (株)サントリーホールディングス
 大島秀治 ポランティアグループ・すいとぴい 奥野宣子 中村敏枝 向當稔 向當君枝 KKアードブレイン
 高橋一弘 青松佐枝 一般財団法人日本児童養護施設財団 シエイ・ワーク(株) 調布パルコフードドライブ 鈴木博人
 荒井富子 高木久美 大木尚美 上石原樹子 中富菜摘 駒沢女子短期大学 堀井一幸 (株)渋谷不動産エージェンツ
 実光博幸 足立書子 松本弘樹 匿名の方

※皆様からのご支援ご援助、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和五年七月